|登録日|

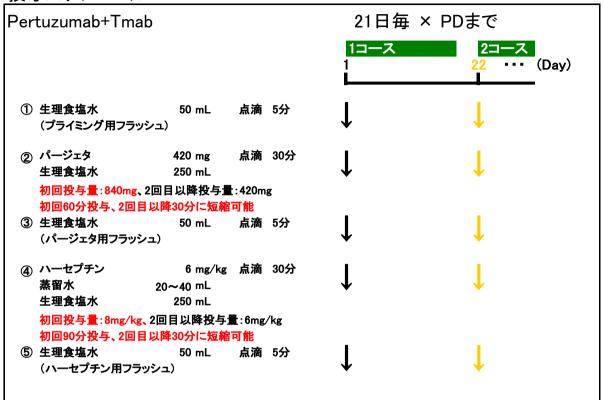
2022/4/11

レジメン名 Col040

腫瘍名 大腸がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール



注意事項

・KRAS野生型かつ化学療法歴のあるHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌が対象

- ・パージェタおよびハーセプチンは、病理結果にてHER2蛋白陽性(3+または2+かつFISH法で陽性の場合)
- ・パージェタおよびハーセプチン投与の際には、心エコーによる心機能を確認する。

(低下時の対応は適正指導ガイド参照)

モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。

・ハーセプチン投与時には、カロナール400mgを検討する。

【投与延期してから再開する際の用量】

- ・パージェタ :前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、前回投与から6週以上の場合 ⇒840mg(次回以降420mg)
- ・ハーセプチン:投与予定日から1週間を超えた場合、初回量(8mg/kg)で投与する。

参考文献

- 1)添付文書(パージェタ 2022年3月改訂版、ハーセプチン2022年3月改訂版)
- 2) Nat med, 27, 1899-1903 (2021).
- 3)パージェタ+ハーセプチン併用療法適正使用ガイド